
第 137 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXXXVII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時：2020 年 5 月 16 日（土）14:00 - 16:00

場所：Zoom を利用し、オンライン開催

特別テーマ「オンライン授業に関わるお悩み相談」

参加者：26 名

実施報告（本文書）作成者：柳田玲奈

* Fecha y hora: sábado, 16 de mayo de 2020, de 14:00 a 16:00

* Reunión On-Line con el sistema Zoom

* Tema especial de la reunión de mayo: “Reflexión sobre los problemas encontrados en las clases On-Line”

* Participantes: 26 personas

* Este informe han encargado a Reina Yanagida.

暦の上では 2020 年度がスタートして 1 か月以上になり、多くの教員が何らかのオンライン授業をすでに実施している中で、いろいろな問題やお悩み事が浮上していることを想定し、先月に引き続きクラウド型ビデオ会議システム Zoom を利用して、以下の内容で TADESKA オンライン例会を開催しました。

—オンライン授業実施に際しての諸問題についてディスカッション—

参加者自身が実際に直面している問題やお悩みについて、参加者間でディスカッションをして解決策を模索します。例会内で必ずしも解決するとは限りませんが、問題とそれに関するいろいろな考え方を共有することで、各自の有事の対応に役立てられることを狙います。

1. タイムテーブル

14:00 – 14:20 進行説明、問題やお悩みの共有作業（チャット機能を利用）

14:20 – 14:50 グループディスカッションその 1

14:50 – 15:00 休憩

15:00 – 15:30 グループディスカッションその 2

15:30 – 16:00 全体ディスカッション、まとめ

2. 寄せられた問題やお悩み

①通信トラブルなどが原因で途中退出してしまった生徒のための対策。
後で視聴可能なように授業を録画？
授業内容をオンデマンド資料として提示？
1クラスを分割して授業を複数回実施し、生徒がリトライする機会を作る？

②説明責任が果たせるような評価方法。
遠隔教育教育機関、あるいは現在進行中の世界中のオンライン授業の評価方法を参考に？
リアルタイム授業の出欠も、課題提出も、どこまで公正な評価ができるか不安。
オンラインシステムでやる小テスト+調べ学習的レポート課題？
動画再生回数は評価対象にできる？
試験の実施方法は？
授業の効果測定どうする？
学生の現時点到達レベルがわかりにくく、定期試験を作成する際の難度、分量設定が難しい。

③セキュリティと利便性との折り合い
セキュリティ優先だろうが、活動、設定、リスクなどの知識が乏しい。
YouTubeも昨日の午前サーバーダウンしていたようで、ちょっと心配。
学生が写真を見せたくないためにちょっと間合いがとりづらい。
カメラを使用しない/使用できない場合の、受講者コントロール。
反応のわかりづらさ。

④教科書を買ってくれない。
定価販売、送料、代引き手数料、注文締切などが原因か。
気になっているものの、現状で確認のしようがない。(学生への送付そのものが遅延するケース)

⑤学生の管理が大変。
人数が多いと回線が切れるのか、途中で抜ける人が多く、その対応に追われる。
50人以上の学生でZoom授業をアクティブに進める方法は？
学生間のITリテラシーレベルに違いがある。
学生にパソコンが苦手な人がいて、操作方法を説明するのに時間がかかることがある。

⑥教員の過労
仕事が雪だるまです。

毎日非常に忙しい。
提出課題のコメントをつけるのに時間がかかる。課題に対してのフィードバックをするのにかなりの時間がかかる。
聞こえに問題のある学生のため、なるべくパワポなどに説明を載せるようにしてほしいということを言われ、ある程度は対応しているが、どの程度まで対応すればよいか迷っている。

⑦学生の取り組み度合いが見えにくい。
YouTube で動画解説を配信しているが、視聴時間が非常に短い。
提示する ppt 以外に書き込みしてもらった資料を事前に配布しているが、学生がどのようにみているのかがわからないので、筆記の時間にどのくらい時間とったらいいかの判断が難しい。(OK と言いながらも、どのくらいやっているかは把握できない)

⑧配布した資料で、ちょっとした表現などが、学生の気分を害し、それが拡散されているのを見てしまった。変なメッセージを配信しない方がいい。
保護者（など第3者）が聞いているという可能性を意識して授業を進めた方がいい。

⑨オンライン授業ツールの使い勝手
ブレイクアウトルームを回っての指導だと時間を取りすぎてしまう。
ホストがブレイクアウトルームの一つに入り、そのルーム内で画面共有することは可能なのか？グループワークをしてもらっている間、教員が順番にルームを訪ねて、パワポのスライドを使って発音と意味のテストをしようとしたが、画面共有ができず失敗した経験あり。

3. まとめと今後へ向けて

複数回のグループディスカッションと全体ディスカッションの中で、解決が得られたものもあったし、各教員の苦心や問題意識を共有することもできました。根本的解決がなかなか難しい問題も多いですが、世話役も含め慣れないオンライン授業をする教員の不安を多少なりとも和らげることに繋がったと思います。

最後に次回例会で扱うテーマとして、「評価方法」「オンライン授業のさまざまな工夫」が提案されました。